

O2-045

保育所等における障害児への虐待事案に関する調査

堀口 寿広

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 社会精神保健研究部

【目的】

保育施設での児童への不適切な対応が報道されることがある。家庭での虐待のうち、児童に障害のある例では虐待のリスクが高まることは広く知られているところであり、保育所等においても、児童に障害のあることは職員からの虐待のリスクを高める可能性がある。障害者虐待防止法では保育所等に通う障害者への虐待を防止する措置を規定しているが、どの程度該当事案があるのかデータはなかった。一方で、職員の対応が意図とは異なって保護者に受け止められ、施設として対応が必要になることもある。職員からの虐待を防ぐとともに保護者との適切なコミュニケーションの在り方を考える上で、中立的な専門職の活用は必須であり、嘱託医等の存在意義は大きいと考えた。そこで、虐待を暴力、暴言、いじめ、無視等の行為と定義し、当該事案に嘱託医等として関与した経験について実情を把握することとした。

【方法】

日本保育保健協議会の個人会員全員1,607人を対象とし、郵送法で調査を行った。回答は無記名とし、回答者の職種、勤務地域、保育所等の施設区分、児童の保護者から「職員から虐待を受けた」という訴え(苦情)があった事案について、関知しているものの有無をたずね、有る場合には年度ごとの件数と概要をたずねた。国立精神・神経医療研究センター倫理委員会より実施の承認を得た。

【結果】

回答数は361件であった。最も多かったのは医師の129人で、次に多かったのは施設長の81人であった。「子どもが職員から虐待を受けた」という訴えを経験したという回答は3件(回答361件の0.83%)であった。事案のあった時期は、平成24年下半期が合計2件、25年度が1件、26年度が1件であった。

【考察】

嘱託医等を対象として事案に関与した経験を得ることを目指したが、調査が同会会員を対象としたものとなったことで、幅広い職種から回答を得ることができた。今回の調査結果から関連した事案の発生頻度について推測することはできないが、保育施設における職員による障害児虐待は起こり得る事態として対応を検討する必要があると考えた。

【付記】

本研究は平成27年度厚生労働科学研究費補助金を得て実施した。調査にご協力くださった皆様方に深謝申し上げます。

O2-046

医療的ケア児への並行保育の実践にかかる費用の検討

秋山 千枝子¹、橋本 創一²、堀口 寿広³¹あきやま子どもクリニック、²東京学芸大学 教育実践研究支援センター、³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

【目的】

人工呼吸器を装着しているなど医療的ケアを要する障害児「医療的ケア児」の生活の場は、これまでは医療設備の整った施設が主となっていた。在宅医療の進展により自宅での生活が可能となってきたものの、支援する施設や専門職の数はいまだ十分に整っているとは言えず、家族のレスパイトと社会参加を促進するためにも当該児が地域で生活できる場が求められていた。障害児への保育は「インクルーシブ保育」と呼ばれ、いくつかのモデルが実践されている。そこで、地域ネットワークを構築し、小児科診療所が介在して医療的ケアを提供することにより一般の保育所で医療的ケア児への保育を実施するモデルを考えた。自治体の協力を得て、医療的ケア児への並行保育を実施し、医療的ケア児を対象とした保育の普及に向けた課題を整理した。

【方法】

東京都三鷹市、武蔵野市の協力を得て、両市の担当部課、保育施設長、福祉団体代表者等からなる「重度障害児地域生活支援協議会」を組織した。並行保育事業については、市立の認可保育所1施設あたり児童1人の枠を設け、小児科診療所が開設した児童発達支援事業所から医療職または保育職1人が帯同して、移動から保育中のケアを実施した。事業所を利用している児童の保護者のうち、協議会のコーディネーターから事業内容の説明を受け参加の同意が得られたものを対象とした。保育の実施に当たり利用者の費用の負担はなしとし、かかった費用の総額を回数で除し1回当たりの金額を求めた。国立精神・神経医療研究センター倫理委員会より実施の承認を得た。

【結果】

並行保育事業には平成26～27年度の2年度間に5人が参加し合計でのべ84回実施した。かかった費用について、1回当たりの金額は、人件費は6,467円、運賃は2,984円であった。

【考察】

医療的ケア児の地域生活の形態の一つとして、一般の保育所を活用し、小児科診療所が介在して医療的なケアを提供する並行保育は有用であり、費用対効果を考慮して普及されるべきモデルと考える。

【付記】

本研究の実施に当たり大同生命厚生事業団の平成27年度地域保健福祉研究助成を得た。